

しん
SHIEN
No.40

2022 8/1



<http://kisokobe.sub.jp/>

戦争孤児のために、「カヨコ・チルドレン・ホーム」をキーウに造る。年内に完成したい。

孤児たちを世話する人、いくつかの候補地もある。日本の里親も、立ち上がっている。宗教者は「わたしは救われた」という自己救済で、満足していてどうするか。こんな時代にそんな宗教はいらない。

政治家、官僚、財界は自分だけがよければいい連ばかりだ。私たちの仲間である統合失調症、路上生活者、貧困の方たちの方が敏感である。飢餓、貧困、戦争の恐怖におびえる「世界」のために手を貸していただきたい。戦場、限界集落、アフリカへ送り出してほしい。

『クリスチャンプレス』(2022年6月21日付)

<https://christianpress.jp/kokusaishien0621/>

2022年7月8日

岩村牧師らウクライナ訪問

神戸国際支縁機構

キラウクライナの惨状に衝撃

虐殺地の女性証言も



報道記事の構成が異なるデータを提供する岩村牧師(右)と牧師

『中外日報』(2022年7月8日付)

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩村義雄 〈携帯 070-5045-7127〉
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区御幸台5-1-101
Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com
【石巻支所】 阿部とよ子
〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37
【熊本支部】 大島健二郎
〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27
【千葉支部】 嶋田博信
〒294-0234 千葉県館山市布良303
年4回 2月、5月、8月、11月
購読料 一部320円+送料80円(年会員 1,600円)

コロナ禍、ウクライナ戦争、前首相暗殺の時だからこそ、かの地が待っている

理事長 岩村義雄

第1次ウクライナに、2022年5月28日～6月13日、神戸国際支縁機構と、「カヨ子基金」は突入。戦地に向かうのにいぶかる非難。危険だからやめよと。しかし、悲鳴、嗚咽、苦しみの叫び。だから向かった。「なぜ死がないといけないのか」の波長に日本のボランティアはじつとしておれなかつた。生きる権利について共に手をにぎり、抱擁し、「来たよ」と言つてあげたかつた。すると、何も言わずに、公園で幼

い子どもが楽器を演奏し、物乞いをしている場面に連れて行かれた。国は未来を担う子どもたちも闘つていで、もう3ヶ月。帰つて来ない。生死もわからない。残された家族にできることは、戦争募金だ。「お父さんだけではない。ボクも闘つ正在り、という精一杯のコサック精神。思わず抱きしめた。



ウクライナ・キーウ 2022年6月7日 戰争募金

ヤマザキ
世界のパン
ヤマザキ

Otsuka
株式会社大塚製薬工場
〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151(代表)

MIYOSHI
ミヨシ石鹼株式会社
〒130-0021
東京都墨田区横3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA
竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-1
〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1



御用学者に操られる現場を知らない政・官・財・学
第29次球磨川ボランティア

事務局 辻 良雄

避難警報レベル4福岡県朝倉市杷木松末19日深夜3時、杷木中学校にいた。5年前、松末（2017年7月5日の豪雨死者41名不明1名）が出た時、7日朝、炊き出しに入った場所である。それから5年間、住民を立ち退かせ、5年の約束で河川を復旧すると言つたはずの国交省は来年の3月でさじを投げる。完成できずに、福岡県に放り投げる。乙石川流域はゼネコンの奥村組（1年前から参入）や6社が自然をえぐりとつて河川にいくつもの砂防ダムを建設している。えげつない自然破壊である。支流である乙石川流域を人間の科学技術で完膚無きまでに破壊した。



福岡県朝倉市杷木松末乙石川 2022年7月18日

みんな税金泥棒である。立ち退きを命じた場所には、メモリアルパークを造つて、治水の能力のなさをこまかす。

自然に逆らうなの教訓を学び直せ。まったく無駄の試みということが現場でわかる。独居の出井洋子（92歳）さんは、「5年前の恐怖を思い起こした」と昨夜からの豪雨跡を眺めながら

2022年7月17日～20日
線状降雨帯のため避難。

嘆息する。
濁流がコンクリートの三面壁に満ちている。今後、森林からの巨木が流れ込むと元の木阿弥だ。税金の無駄遣いというより、土建業者と国交省の癪着に黙つていてはいけない。



砂防ダムの必要性を説く安倍晋三元首相の御用学者藤井聰教授〔1968年生京都大学大学院工学研究科〕の詭弁に現場を知らない政・官・財・学は騙されていけない。彼はリニア推進でもあり、土木関係者にとり生き神的存続である。数字を巧みに用いてまくしたてる。参照『神戸新聞』（2022年7月24日）。「川辺ダム建設の魔の手」（岩村義雄 神戸国際キリスト教会2020年9月27日2-4頁）。

chrome-extension://efaidnbmnnibpcajpcglefifdmkaj/http://kicc.sub.jp/wp-content/uploads/2020/12/41c22680542b48ae3af03fc4604a7550.pdf

五家荘椎原緒方の系図によると、平清盛の嫡男小松内大臣重盛の息子（三男）平清経が、五家荘緒方の先祖とされている。清経は笛の名手であり、源義経との壇ノ浦の戦において敗れ、戦場を逃れて一一八三年豊後柳ヶ浦で笛を吹いた後に入水自殺したとされている。そのことについては大分県宇佐市に平清経供養塔が建てられており、それによると「平家一門が都落ちした後には次第に悲観的な考えに取り付かれ、元平重盛の御家人であった緒方惟義に追い落とされたことから、豊後柳ヶ浦にて一一八三年四月四日入水自殺したところである」とあるということである。

壇ノ浦での平家敗戦後はどうぞくさにまぎれて、安徳天皇をお守りして阿波の祖谷渓に逃れた一派があつたとされている。祖谷渓は平家落人の棲家とされていて、良く知られているところである。二位の尼が抱いて入水したとされている安徳天皇の陵墓とされているものは全国で十箇所近くにも及び、徳島県越知町にも安徳天皇の墓が建てられていると聞く。

越智町ホームページによる「安徳天皇陵墓参考地として国の指定を受けている。安徳天皇が都を忍び徒民と共に蹴鞠（けまり）をして遊んだ場所として伝えられている。ここが県内で唯一の宮内庁所轄地となっている」とある。

果たして真実はいかに!!

五家荘の伝承にしたがって話を進めていくと以下のようである。

清経等は一旦四国に逃れたものの、（平盛（久連子緒方）氏所有由来書では）江見次郎盛方という平家一門の人物が「九州に住む場所として良いところがある」と薦めたので豊後の国鶴崎に上陸し、湯布院に一年ほど滞在していた。そこへかつては重盛の配下であつたが、源氏方に味方している緒方三郎惟義が文（手紙）を出して招いたので二年あまり逗留していた。しかし惟義が病に罹り、余命を悟つて枕邊に呼び、源氏の平家追討は厳しく、自分の死後の清経を心配し、清経に自分の名前緒方三郎に改名し平家再興することを奨め、豊後から九州山地を勧められた薩摩をめざして進んでいった。

そこで清経は緒方三郎清國と改名し、惟芳の娘を妻として（このことにロマンスがあるのかもしれない）寿永八年（文治五年）（一一八五年三月）惟義の館を発ち九州山地を勧められた薩摩をめざして進んでいった。倉岡を過ぎようとしたとき、四、五十名の者が現れて清経一行を取り囲んだ。

【真平家物語】五家荘の先祖（第4回）

熊本県球磨郡相良村教育長 緒方 傑一郎

31年ぶり、 ゼロから翻訳した新しい聖書

『聖書 聖書協会共同訳』
-2018年12月発行-

全国書店にて
好評発売中です
www.bible.or.jp
日本聖書協会



**精神法人社
湯川胃腸病院**

消化器内科・結婚婦科・頭頸部外科・精神科
ここでも安心してお医療を受ける
施設性の専門性の高い
専門的・個別的・効率的・柔軟な
診療体制を確立して
全般内科・消化器内科・精神科・腎臓科

TEL:06-6771-4861 FAX:06-6771-4882

〒 543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝2丁目10番2号

人によし、社会によし、未来によし。

ミヨシ油脂株式会社

TEL: 03-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1
http://www.miyoishi-yushi.co.jp

夢に近づく
夢を産み出す…

KINSAN

KS 近畿産業信用組合

総合センター
0120-111-019



2022年(令和4年)6月4日

東日本大震災などの被災地訪ね交流

田んぼ再生し
心の復興支援

神戸の団体「対話を大切にしたい」

第132次東北ボランティア 2022年7月3日~6日 代表 村上裕隆

2022年(令和4年)6月4日

東日本大震災などの被災地訪ね交流

田んぼ再生し
心の復興支援

神戸の団体「対話を大切にしたい」

第132次東北ボランティア 2022年7月3日~6日 代表 村上裕隆

『神戸新聞』(2022年6月4日)

毎日新聞
2022年(令和4年)7月10日(日)

ボランティア団体「神戸国際支縁機構」代表
村上 裕隆さん

人から感謝が原動力に

2022年(令和4年)7月10日(日)

毎日新聞
ボランティア団体「神戸国際支縁機構」代表
村上 裕隆さん

人から感謝が原動力に

『毎日新聞』(2022年7月10日付)

無農薬、有機の田んぼを世話する

第132次東北ボランティア 2022年7月3日~6日

代表 村上裕隆

昨年、7月3日に、熱海土砂災害（死者27名「災害関連死含む」不明1名）の現場に行つてからちょうど1年。台風4号のため、7月4日、千葉県館山市に避難警報。2019年9月9日の台風15号以来、家族のような関係ができる布良の住民が心配だった。鋸南町竜島の神田芳江さん、布良の小谷登志江さんたちにお会いした翌日、宮城県石巻市から電話で安否を尋ねた。大阪大学院の博士後期課程のメダカがいる田んぼで農作業をした。

船を引く上げた。波が10メートルを超えると、タンカーは房総沖で折れる。さめが60センチのワラサ（出世魚ブリ）になる前関西ではメジロ）をくいちぎる。

漁師は生き延びるために必死である。行政は釣り人を守るが、漁師は生活権利が保障されていない。庄司和夫（76歳庄和丸）さんは吼える。

船を購入する儲けがないから、エポキシで木工の船を固め、自分で造らざるを得ない。



千葉県館山市布良

漁師庄司和夫（76歳庄和丸）さんの苦悩を聞く。2022年7月4日

(一社)神戸国際支縁機構

・ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。
医療関係者歓迎します。

・被災地への支縁物資もお願いします。

・年会費をお願いします。（月に200円）

会員（年度4月～翌3月）の皆さんには、季刊誌などをお送りします。

・海外の孤児のために支縁金をお願いします。

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

・郵便振替

口座 009008-58077

加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

・三菱UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863

加入者名 神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には必ず『国名』を書き添えてください。



代表取締役 三木 晴雄

Tel 130-0021 東京都墨田区練 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp



SERVING MANKIND
Humanity First
日本アハマディア・ムスリム協会

弁護士法人
芦屋西宮市民法律事務所

津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長
兵庫県弁護士会前会長

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区練 3丁目8番12号



事務局便り

事務局長 本田寿久

アフガニスタン

2022年6月22日アフガニスタンで地震発生

9・11テロ以降、アメリカ軍が空爆したことにより、孤児が生まれ、神戸国際支縁機構が発足することになった因縁の国。

タリバンが政権を掌握してから最初に経験する自然災害。

ホスト州の州都から南西へ44kmが震源地。6月22日(水)の未明にマグニチュード5.9(欧州地中海地震学センターEMSC M 6.1)。1600人以上が負傷。戦争被災者の治療から一転して、地震被害者に。パキスタンとの国境近くの山岳地帯における豪雨と風雨が救援活動を妨げになっている。被災者はパクティカ州に集中している。

みなさんで孤児、シングルマザー、差別されている少数民族に応援しよう。



2022年1月15日 お見舞い

1月13日にベッドから落ちて、骨盤を骨折なさった酒井利栄子さん。7月17日に誕生日、85歳になられた。後見人ボランティアとして病院にお連れするようになって12年。5月の退院まで、コロナのため面会はできないが、パジャマなど衣類は洗濯して3日おきにフロントに届けた。西上千栄子姉などのメッセージや好物を添えた。車椅子を乗せるハイエースで通院が再開。管がついた状態のため、二度と歩けないと思いきや、6月14日にウクライナからの帰国後には、杖なしで歩けるように回復なさった。

奇跡としかいいようがない。そんな喜びもつかの間、同じホームの方からコロナ感染により、高熱発生。しかし、いやされた。思わず、神様によって利栄子さんは生かされている恩寵を思わずにはいられない。私たちの方が励まされている。Y.I.

救援金、維持会費ご協力を感謝します。

(敬称略)

2022年4月17日～7月16日

佐々木美和、岩村義雄、神戸国際キリスト教会、谷 雅博、樋口喜寿江(福岡県松末)、鄭恵姫(2)、横原一郎 & 三枝子、河合 篤、岡部徹 & 京子、阿部和夫 & 斎子(宮城県石巻市)、大河戸章代、宮本博美、岩本真子(福岡県寒水)(2)、神戸新聞文化センター(2)、エフエムわいわい、柴田珠江、則政幸夫、山本京子、仙 浩二、千葉幸一(宮城県石巻市)(2)、野田健二(3)、鳴田博信 & 礼子(千葉県布良)(3)、織田沢治代、黒田一美、神戸朝鮮高級学校、許 敬、西堀 元 & 容子、賀内覚太郎、上村由紀穂(熊本県人吉市)、星野尚子、朝日泰治 & 華子、釈 徹宗、飯原洋子、住友直幹、池田久美子、松田エツ子、緒方真喜代(熊本県球磨郡なつめ保育園)、本田寿久(2)、愛沢伸雄(千葉県館山市)、中山圭子、泉 晴代、森 一郎、梅木博光(金光教多良木教会)、櫻井由里子、河村ひとみ、KISO 牧場(忍ヶ丘キリスト教会)、本田大輔、高橋優子、小谷登志江(千葉県布良)、安西玲子、池田裕子、瀬名浩子、「ひまわり上映実行委員会」(福島県会津若松)、兵頭晴喜、貞松 融、大阪朝禱会、(株)竹中工務店、有田真一 & 美榮子、石川隆教(千葉県那古寺住職)、藤原りつ子、村田優美子、豊崎美代(千葉県布良)、辻久夫、鶴崎祥子、春重祺子、「小さくされた人々のための福音」講座(3)、大島健二郎、今村佳代子(佐賀県大町町)、神納茂子、橋本睦子、岸本 豊、塩川成子(千葉県館山市)、宮坂信章、宮氏道夫、八尾和樹、福田雄二(球磨郡相良)、岡田小百合、北村恭男、吉持志保、沖浦宏隆(千葉県布良)(2)、長島康弘、清水孝紀、河村紀子、庄司慈明(宮城県石巻)、高橋宏和、崔 勝久、岩間洋、岩間千恵子、中條和子、池口美喜子、金 承鎬、統一マダン、太田妙子、芦名定道、泉とも子、伊藤鉄也、大西 孝、鄭炳采、木村ふみ子(石巻市)、野崎和子、大宮宥博、高 祐二、鈴木 武、熊野千秋、白瀬悦子、東原良学(2)、坂井良行(高野山真言西北方院住職)、西上千栄子(4)、ルア教会(沖縄バプテスト連盟)、井上有希、徳留由美、本庄キリスト教会(福音伝道教団)、吉田 隆、石井久雄、東灘バプテスト教会、大槻紀夫(2)、新免 貢、佐藤紀子(宮城県多賀市)、廣森勝久、匿名

407,500円

フードバンク関西、梶原ミドリ(福岡県松末)から梅干し、岩本真子(福岡県寒水)からセーター等、「釜田醸造所」釜田顕からせんべい、山内満千子(熊本県相良)からわらび、「耕支縁」から野菜、十文字からカード、丹野恵子(宮城県石巻市)からチオビタ、丹野典彦から塩ウニ、小谷登志江(千葉県布良)から飲物、Nune & Sunee Bhs から Nepal food、Chin Sinh からお茶、Leonid Bulavin から Roshen、フィレック翔子から菓子等、ロラ・クハーチュックからハチミツ、山崎留実子から葉書、徳留由美かららっきょ等、新堀隆義 & 美恵子(千葉県布良)から書籍、阿部とよ子(宮城県石巻支所)からオリオピタミン、佐藤金一郎 & 晴美(宮城県渡波)からヤマユリなど。石井久雄からそーめん、村田充八から出石そば、西上千栄子からマスク、チョコレート、東垂水ルーテル教会の山下 寛 & 弘美からそうめんなど、鵜池弘文(佐賀県大町町)からうに、樋口 實(朝倉市松末)からおにぎり。

● 統一マダンに出店 2022年5月29日(日)



(社)神戸国際支縁機構

右から三好直美、村上裕隆、野田健二

神戸国際支縁機構は毎年、神戸市長田区若松公園での「統一マダン」に参加。三好直美姉たちのアピールで2万円の寄附が寄せられた。本田寿久事務局長は統一列車の踊りに参加し南北統一の旗を振った。

本田哲郎セミナー

毎月第3金曜日午前10時～
神戸学生・青年センター本館1階

岩村義雄セミナー

毎月最終月曜日午後6時半～
ミント神戸17階

編集後記

90歳になられた神戸国際支縁機構の白方誠彌理事は、現役の医師である。理事会では最高年齢とはいえ、柔軟な脳の働きには一堂、敬意を表している。神様からのひらめきが有益である、と強調される。機構で訓練された若者のひとり村上裕隆代表が良き指導者に成長したことに目を細めた。

「太陽は沈む時に明るく輝く」ように、神様に喜ばれることをすることによって、まとうことができる。「御覧ください。主は約束してくださいましたとおり、私を生かしてくださいました。主がこのことをモーセに約束された時から四十五年がたち、その間、イスラエルは荒れ野を歩みました。今日、私は八十五歳になりました。

今日もなお、モーセが私を遣わした日のように健やかです。戦いのためであれ、日常の務めであれ、今の私の力は当時と同じです」とカレブが元気に活躍した時、85歳であったことを引用された。(ヨシュア 14:10-11)。

理事 白方誠彌